

緊 急

「岩手・宮城地区の震災がれきは、全て集めて山積み保管し、津波記念公園として整備を！」

【提案主旨】

- ・ 岩手県と宮城県のがれきは、湾内海底がれきも含め、一箇所に全て集めて山積み保管する。
- ・ 三陸海岸には平地が狭いので、津波で被災、地盤沈下して塩害が残る、仙台平野海岸に集める。
- ・ 集めたがれきを古墳のように築いて、慰霊と決意の津波記念大公園として整備する。

【提案理由】

山積み保管法について

- ・ 津波瓦礫の焼却と広域処理は、瓦礫処理を早めることになりません。
- ・ 津波がれきの焼却と広域処理は、費用と時間を浪費します。公費は全国や関係団体の利益や利権につなげず、直接、被災者と被災地復興に役立つように使うべきです。
- ・ 焼却処理は、環境汚染拡散につながることで、焼却灰と回収煙は濃縮されて、kgあたり放射能が上がり、かえって安全な放射能処理を妨げます。
- ・ 岩手や宮城の海底や海岸にある津波がれきの放射能は低いので、高度な放射能処理施設で管理しなくてもよいが、大量にあるので拡散させないように管理すべきです。
- ・ コンクリート、粘土層等、土壌への浸透防止床（コンクリートなど）の上に、がれきを山積みし、パイプを設置して水抜きし、集めた排水は、濃縮、固形化してドラム缶に入れて長期管理を行なうという、従来の標準的放射汚染水処理を行ないます。本要望と並行して私たちは、環境から集められた放射能汚染廃棄物は全て、福島第一原発付近に放射能汚染廃棄物最終保管場を設置して保管・管理することを要望していますので、そちらにドラム缶を運んで同様に埋設する。
- ・ がれきの山の表面を粘土やコンクリートで被い、雨雪を、がれきへ浸透させずに排水すれば、瓦礫から出る排水は激減します。
- ・ 岩手・宮城では瓦礫の放射能よりも山野や田畑の枯れ草や落ち葉の放射能のほうが格段に多いので、放射能汚染廃棄物処理と汚染・被曝防止のためには、農地や山野の対策をより強化される事を要望します。その際出た処理物は福島地区要望書にある保管場に運ぶことができます。
- ・ 津波がれきは山積み保管が早く、経済的、安全で、最も合理的保管法です。
- ・ 900m × 600m、平均高 20m の丘に築くと 2160 万トン収容できる（比重2として計算）。現実的な数字です。
- ・ 保管場を海岸に造るので、がれきを海上輸送できることも利点です。

記念公園として整備することについて

- ・ 瓦礫は思い出と悲しみの遺品です。ごみとして処分するのは残念なことです。工法、排水の工夫で再利用可能となります。
- ・ 集めたがれきは古墳のように山積みし、津波避難所をかねた、震災津波慰霊の大公園として整備する。
- ・ 津波の教訓や歴史、防災の世界的拠点として世界一の地震・津波資料館を併設する。
- ・ 世界一の資料館は、被災経験が将来の苦痛としてだけでなく、被災と被災地の誇りとなることを助けます。
- ・ 世界最高の津波資料館は観光・学術・文化施設として、被災地の経済、文化復興復興と発展に有益です。広島平和公園と併設された原爆資料館・国際会議場が良い例です。
- ・ 公園・博物館は、広域・焼却処理に考案した費用を充当すれば可能です。

■連絡先

内閣総理大臣、環境大臣に要望する署名をお願いします。

「<宮城 岩手地区の震災がれきは津波記念公園として整備を！>プロジェクトチーム」では、内閣総理大臣・環境大臣に対し、震災がれきは津波記念公園として整備を求める要望書を提出いたします。私達の活動にご賛同くださるという方々のご署名をお願いいたします。

宮城 岩手地区の震災がれきは津波記念公園として整備を求める要望

お名前	ご住所（省略せずに記入お願いします）	メッセージ（あればお願いします）

回収者氏名（ ）

【集約先】

- 放射能から子供を守るプロジェクト・チーム奥州
〒023-0801
岩手県奥州市水沢区横町2番地1 メイプルB1F
奥州市民活動センター気付（21番ポスト）

○お問い合わせ

080-6805-6407
mirainochi@shinsaigareki.co.uk

【ご署名方法】

- ・ 同上などと省略せず都道府県からすべてご記入ください。
- ・ 岩手県以外に在住の方の署名も有効です。
- ・ 日本にお住まいの外国人の方（アルファベット・カタカナ）の署名も有効です。
- ・ 要望書は今後、主旨が変わらない範囲で修正をすることがあることをご了承ください
- ・ いただいた個人情報は署名提出のみに利用し、第三者には提供しません。